



大阪教育大学  
OSAKA KYOIKU UNIVERSITY

令和7年度

一般選抜・学校推薦型選抜（予告）

---

# 令和7年度大阪教育大学教育学部(教育協働学科)の専攻・コースの再編について

今日、学校現場を取り巻く課題が複雑化・多様化しており、学校や教員だけでなく、学校を取り巻く、様々な教育に関わる領域の発展が、必要不可欠となっています。

大阪教育大学では、そのような教育課題を解決するため、学校教育の変革を学校教育の外から支援できる人材を育成するべく、令和7年4月に教育協働学科の専攻・コースの再編を予定しています。

## ■ 再編の概要



学科・専攻・コース		入学定員	募集人員	キャンパス
教育協働学科	理数情報専攻	数理情報コース	40	柏原
		自然科学コース	60	
	教育心理科学専攻		40	
	健康安全科学専攻		35	
	スポーツ科学専攻		50	
	芸術表現専攻	音楽表現コース	40	
		美術表現コース	10	
	グローバル教育専攻	多文化リテラシーコース	55	
		英語コミュニケーションコース	20	
			350	

学科・専攻・コース		入学定員	募集人員	キャンパス
教育イノベーション専攻	数理・知能情報コース	350	55	柏原
	環境安全科学コース		75	
教育コミュニティ支援専攻	心理科学コース	40		
	スポーツ健康コース	50		
	芸術表現コース	40		
グローバル教育専攻	日本語教育コース	55		
	国際協働英語コース	35		

## 新たな専攻・コースで養成する人材像

専攻・コース	養成する人材像
教育イノベーション専攻	数理・知能情報コース 数理・AI・データサイエンスに関する高度な専門的知識・技能を効果的に活用し、学校や教育関連企業と連携・協働して、データ分析や情報マネジメントによる教育現場のDX（デジタルトランスフォーメーション）を推進することにより、多様な教育課題の解決方法を創造できる人材を養成します。
	環境安全科学コース 自然科学や環境科学、安全科学など多様な専門的知識・技能を融合し、学校や教育関連企業と連携・協働して、身の回りの環境から地球環境に至る幅広い課題を探究することにより、多様な教育課題の解決方法を創造できる人材を養成します。
教育コミュニティ支援専攻	心理科学コース 人間の生涯全体をとりまく心理に関わる課題を解決するために必要な理論と実践や、人間の発達とコミュニティのあり方に関する知識を修得し、学校・家庭・地域・企業等と連携・協働して、様々な人々が精神的に安心して生活したり協働したりできる社会のあり方を探究することにより、多様な教育課題の解決を支援できる人材を養成します。
	スポーツ健康コース スポーツの普遍的価値と人間社会における有用性、人間の心理的発達や機能発達におけるスポーツの重要性と有効性、心身の健康や運動行動、スポーツ活動などについての原理や方法を理解し、学校・家庭・地域・企業等と連携・協働して、様々な人々が安全かつ健康にスポーツを実践・交流することができる方策を探究することにより、多様な教育課題の解決を支援できる人材を養成します。
	芸術表現コース 音楽及び美術の普遍的価値と人間社会における有用性ならびに人間の心理的発達における芸術の重要性と有効性を理解し、学校・家庭・地域・企業等と連携・協働して、芸術の実践と交流によって社会における様々な人々をつなぐ方策を探究することにより、多様な教育課題の解決を支援できる人材を養成します。
グローバル教育専攻	日本語教育コース 日本語および日本文化に関する専門的知識を修得し、学校・家庭・地域・企業等と連携・協働して、異文化間のコミュニケーションと相互理解を率先して推進することにより、多様な教育課題の解決方法を創造できる人材を養成します。
	国際協働英語コース 異なる文化、考え方を尊重し、共感を持ちながら、英語の運用能力と発信力を持って積極的にコミュニケーションを行うとともに、各国・地域の教育モデルを深く理解することにより、国際的な視野から新たな教育の在り方の創造や多様な教育課題の解決に貢献できる人材を養成します。

# 新たな専攻・コースで取得可能な資格・免許状

学科	専攻	コース	取得可能な資格・免許状	主な進路	
教育協働学科	教育イノベーション専攻	数理・知能情報コース	<ul style="list-style-type: none"> <li>●中学校教諭一種（数学）</li> <li>●高等学校教諭一種（数学）</li> <li>●高等学校教諭一種（情報）★</li> </ul>	教育委員会など教育行政職員（情報系技術職員）、企業（情報処理・情報通信系、学習用ソフトウェア・デジタル教材開発、教育現場のICT化）、学校事務職員・大学事務職員、教育サービス企業、中学校教諭、高等学校教諭など	
		環境安全科学コース	<ul style="list-style-type: none"> <li>●中学校教諭一種（理科）</li> <li>●高等学校教諭一種（理科）</li> </ul>	教育委員会など教育行政職員、教育関連NPO職員、企業（教科書、学習用ソフトウェア・デジタル教材開発）、教育系シンクタンク企業、学校事務職員・大学事務職員、教育サービス企業、中学校教諭、高等学校教諭など	
	教育コミュニティ支援専攻	心理科学コース	※公認心理師	企業・公務員・団体職員（心理・人材育成・社会福祉系）、大学院（公認心理師資格取得を含む）、教育サービス企業など	
		芸術表現コース	音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>●中学校教諭一種（音楽）</li> <li>●高等学校教諭一種（音楽）</li> </ul>	企業（デザイン・広告・映像・音楽制作・芸術教材開発等）、公務員・団体職員（芸術文化振興系、劇場、美術館等）、部活動・音楽・美術教室の指導者、教育サービス企業、中学校教諭、高等学校教諭など
			美術	<ul style="list-style-type: none"> <li>●中学校教諭一種（美術）</li> <li>●高等学校教諭一種（美術）</li> </ul>	
	日本語教育コース	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇登録日本語教員</li> <li>●中学校教諭一種（国語）</li> <li>●高等学校教諭一種（国語）</li> </ul>	日本語学校教師、公務員・団体職員（国際交流系）、通訳・翻訳業、教育サービス企業、中学校教諭、高等学校教諭など		
	グローバル教育専攻	国際協働英語コース	<ul style="list-style-type: none"> <li>●中学校教諭一種（英語）</li> <li>●高等学校教諭一種（英語）</li> </ul>	国際交流機関職員、公務員・団体職員（国際交流系）、英会話講師、通訳・翻訳業、教育サービス企業、中学校教諭、高等学校教諭など	

社会教育士（社会教育主事）・図書館司書・学校図書館司書教諭は専攻・コースに関わらず取得可能。

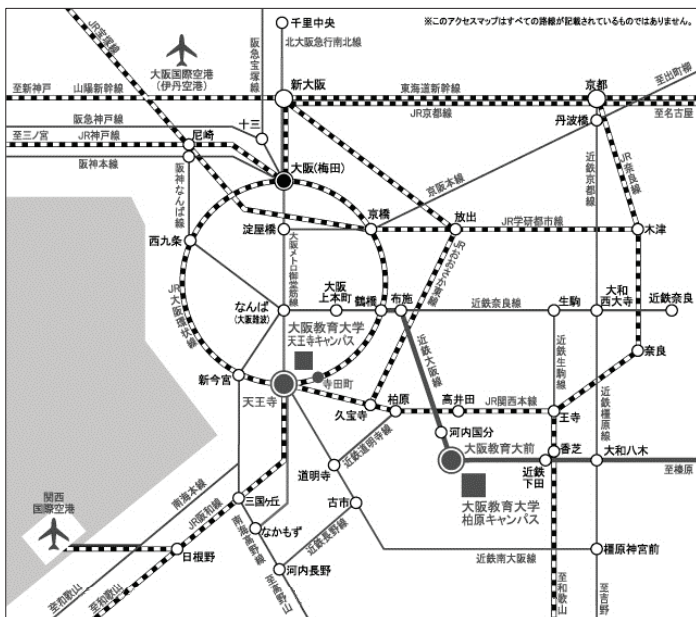
●は卒業要件以外にコースに応じたそれぞれの免許状に必要な科目の単位を併せて修得することによって取得が可能。

◇所定の単位を修得し、日本語教員試験（応用試験）に合格することにより取得が可能。ただし、登録日本語教員養成機関及び登録実践研修機関として文部科学省に申請予定であり、審査の結果、予定している開設時期等が変更となる可能性があります。

※所定の単位を修得し、卒業後、大学院において所定の単位を修めるか、実務経験を積むことで取得が可能。

★高等学校教諭一種（情報）免許状については、文部科学省に教職課程を申請予定であり、審査の結果、予定している教職課程の開設時期等が変更となる可能性があります。

## 開講キャンパス



出発駅	乗り換え	所要時間	到着駅
JR 大阪	JR大阪環状線外回り (約15分)	JR・近鉄 鶴橋	近鉄大阪線急行 (約16分)
JR 天王寺	JR大阪環状線内回り (約6分)	近鉄 河内国分	近鉄大阪線急行・区間準急 (約2分)
近鉄 大阪難波	近鉄奈良線 (約6分)	近鉄大阪線急行・区間準急	(約30分)
阪神 神戸三宮	阪神なんば線快速急行 近鉄奈良線 (約50分)	近鉄大阪線急行	近鉄大阪線急行・区間準急 (約18分)
近鉄 大阪上本町	近鉄大阪線急行 近鉄大阪線急行・区間準急	近鉄 河内国分	近鉄大阪線急行・区間準急 (約2分)
近鉄 奈良	近鉄奈良線急行 大阪難波行 (約32分)	近鉄 河内国分	近鉄大阪線急行・区間準急 (約2分)
近鉄 京都	近鉄特急 (約45分)	近鉄 河内国分	近鉄大阪線急行・区間準急 (約30分)
近鉄 名古屋	近鉄特急 (約1時間50分)	近鉄 大和八木	近鉄大阪線急行・区間準急 (約25分)

徒歩 (約15分)  
近鉄バス (約5分)  
大阪教育大学柏原キャンパス(事務局様)

# 令和7年度学部学生募集人員

学部	キャンパス	課程・学科・専攻・コース		入学定員 (人)	募集人員 (人)		募集人員内訳 (人)												
							一般選抜				特別選抜(注1)								
							前期日程		後期日程		共通テストを課さない推薦		共通テストを課す推薦		共通テストを課す推薦(特別枠)		私費外国人留学生		
教育学部	柏原・天王寺	学	幼小教育専攻(注2)	幼児教育コース	15	10	—	—	5	—	—	—	—	—					
				小学校教育コース											45	23	—	—	17
	柏原	校教育教員養成課程	次世代教育専攻(注3)	教育探究コース	480	40	20	10	—	10	—	—	—	—	—				
				ICT教育コース												20	12	8	—
			教科教育専攻(注4)	国語教育コース		45	30	5	—	—	10	—	—	—	—	—	—		
				英語教育コース		25	17	—	—	—	8	—	—	—	—	—			
				社会科教育コース		40	26	—	—	—	14	—	—	—	—	—			
				数学教育コース		45	25	20	—	—	—	—	—	—	—	—			
				理科教育コース		50	35	5	—	—	10	—	—	—	—	—			
				技術教育コース		10	6	—	—	—	4	—	—	—	—	—			
				家政教育コース		15	8	3	—	—	4	—	—	—	—	—			
				保健体育コース		40	25	10	—	—	5	—	—	—	—	—			
				音楽教育コース		20	14	—	—	—	6	—	—	—	—	—			
				美術・書道教育コース		25	17	5	—	—	3	—	—	—	—	—			
			特別支援教育専攻	45		30	8	—	—	7	—	—	—	—	—				
			天王寺	小学校教育(夜間)5年専攻		40	40	25	15	—	—	—	—	—	—	—			
			柏原	養護教諭養成課程		30	30	25	5	—	—	—	—	—	—	—			
			教員養成課程合計				550	550	348	94	4	99	5	—	—				
			柏原	教育協働学科		教育イノベーション専攻	数理・知能情報コース	350	130	55	25	40	20	—	10	—	—	15	10
							環境安全科学コース												
教育コミュニティ支援専攻(注5)	心理学コース	40			20	10	—		—	—	—	10	若干人						
	スポーツ健康コース	50			60	20	30		10	30	20	—	—	若干人					
	芸術表現コース	40			20	10	10		—	—	—	—	—						
グローバル教育専攻	日本語教育コース	90			55	30	—		—	—	10	5	—	25	20				
	国際協働英語コース	35			25	—	—		—	—	5	—	—	5	5				
教育協働学科合計					350	350	180		70	30	20	0	50						
教育学部総計				900	900	528	164	34	119	5	50								

(注1)特別選抜(学校推薦型選抜,私費外国人留学生入試)の合格者数(入学手続者数)が募集人員に満たなかった場合は,一般選抜の合格者で補充します。  
(注2)学校教育教員養成課程の幼小教育専攻幼児教育コース及び小学校教育コースは,1~2年次を柏原キャンパス,3~4年次を天王寺キャンパスで修学します。  
(注3)次世代教育専攻ICT教育コースは,卒業要件を満たすことにより取得できる教員免許状が2パターンあり,いずれかを出願時に選択いただきます。  
パターンごとの合格者数の目安は以下のとおりです。  
①情報+小学校:高等学校教諭一種免許状(情報)及び小学校教諭一種免許状の取得を希望する者(前期日程6人程度,後期日程4人程度)  
②情報+中高数学:高等学校教諭一種免許状(情報),中学校教諭一種免許状(数学)及び高等学校教諭一種免許状(数学)の取得を希望する者(前期日程6人程度,後期日程4人程度)  
(注4)美術・書道教育コースにおける実技検査の種別ごとの合格者数の目安は以下のとおりです。なお,美術・書道教育コースの共通テストを課す推薦の募集は美術分野のみ行います。  
美術分野(前期日程12人程度,後期日程3人程度),書道分野(前期日程5人程度,後期日程2人程度)  
(注5)芸術表現コースにおける実技検査の種別ごとの合格者数の目安は以下のとおりです。なお,芸術表現コースの共通テストを課さない推薦の募集は音楽分野のみ行います。  
音楽分野(前期日程15人程度,後期日程5人程度),美術分野(前期日程5人程度,後期日程5人程度)

## アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

### 「大阪教育大学教育学部アドミッション・ポリシー」

#### 1. 求める学生像

卒業認定・学位授与の方針に定める資質・能力を育成するために編成された教育課程を履修する学生として、次に掲げる人材を広く求めます。

- ・子どもの未来への関心があり、教職への強い意欲と関心、探究心を持つ人
- ・教職に必要な知識と技能、教科に関わる専門分野への関心がある人
- ・広く豊かな教養と多様性理解、協調性の修得をめざす人
- ・現代社会への幅広い関心と自らの課題意識を持って積極的に社会参画をめざす人

上記の求める学生像に加えて、外国人留学生では次のような人を求めています。

- ・一定の日本語能力と大学教育を受けるに必要な基礎学力を持つ人
- ・日本の文化や社会についての理解や経験を活かして国際的に活躍することをめざす人

#### 2. 入学者選抜の基本方針

各課程・学科が求める学生を受け入れるために、学力の3要素（①知識・技能、②思考力・判断力・表現力、③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）等を多面的・総合的に評価し、一般選抜（前期日程・後期日程）、学部推薦型選抜、私費外国人留学生入学試験、第3年次編入学試験の多様な入学者選抜を実施します。

## 「学校教育教員養成課程アドミッション・ポリシー」

### 1. 求める学生像

卒業認定・学位授与の方針に定める資質・能力を育成するために編成された教育課程を履修する学生として、次に掲げる人材を広く求めます。

- ・教員の基盤としての広く豊かな教養を身に付けるため、高等学校で履修した教科・科目における基礎学力を有している人
- ・教職に必要な知識や技能、教科に関わる専門分野への関心があり、それらを学ぶための十分な学力と適性を有している人
- ・社会の多様性を理解し、多様な人々とコミュニケーションを図り、協働できる能力を身に付けようと思っている人
- ・子どもたちの成長に関わることへの関心があり、教職に就くことを強く希望し、探究心を持って主体的に学ぶ態度を有している人

### 2. 入学者選抜の基本方針

教員養成課程が求める学生を受け入れるために、次の入学者選抜を実施します。なお、各選抜区分については、学力の3要素を別表のとおり評価します。

学校推薦型選抜では、「大学入学共通テスト」・「個別学力検査」・「小論文」・「実技検査」・「面接」・「競技成績に関する証明書」・「活動報告書」を課します。各専攻・コースにおいて以下の選抜方法を複数組み合わせることによって、学力（「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等の能力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」）と教職に就くことへの意欲を確かめます。

- ・各教科の基礎的な知識を習得したかどうか、さらに思考力や判断力を確かめるために、「大学入学共通テスト」を課します。
- ・大学で学ぶに十分な知識を習得したかどうか、さらに知識に基づく高度な思考力や表現力を有しているかどうかを確かめるために、「個別学力検査」を課します。
- ・総合的な理解力、思考力、発想力、論理的構成力、表現力などを確かめるために、「小論文」を課します。
- ・大学で専門分野を学ぶに十分な技能や表現力などを有しているかどうか、また専門分野に対する理解・関心度・意欲を確かめるために、「実技検査」を課します。
- ・論理性・表現力・応用能力をみるとともに、専門分野についての関心や学校教育・教職への熱意・適性などを確かめるために、「面接」を課します。
- ・十分な技能を有しているかどうかを確かめるために、「競技成績に関する証明書」の提出を求めます。
- ・専門分野についての関心や教職に就くことへの意欲などを確かめるために、「調査書及び志望理由書」の提出を求めます。
- ・高等学校等で経験・修得したさまざまな分野（教育に関する分野を含む）における活動・技能等を確かめるため、「活動報告書」の提出を求めます。

一般選抜（前期日程）では、「大学入学共通テスト」・「個別学力検査」・「小論文」・「実技検査」・「面接」・「調査書及び志望理由書」・「活動報告書」を課します。各専攻・コースにおいて以下の選抜方法を複数組み合わせることによって、学力（「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等の能力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」）と教職に就くことへの意欲を確かめます。

- ・各教科の基礎的な知識を習得したかどうか、さらに思考力や判断力を確かめるために、「大学入学共通テスト」を課します。
- ・大学で学ぶに十分な知識を習得したかどうか、さらに知識に基づく高度な思考力や表現力を有しているかどうかを確かめるために、「個別学力検査」を課します。
- ・総合的な理解力、思考力、発想力、論理的構成力、表現力などを確かめるために、「小論文」を課します。
- ・大学で専門分野を学ぶに十分な技能や表現力などを有しているかどうか、また専門分野に対する理解・関心度・意欲を確かめるために、「実技検査」を課します。
- ・論理性・表現力・応用能力をみるとともに、専門分野についての関心や学校教育・教職への熱意・適性などを確かめるために、「面接」を課します。
- ・専門分野についての関心や教職に就くことへの意欲などを確かめるために、「調査書及び志望理由書」の提出を求めます。
- ・高等学校等で経験・修得したさまざまな分野（教育に関する分野を含む）における活動・技能等を確かめるため、「活動報告書」の提出を求めます。

一般選抜（後期日程）では、「大学入学共通テスト」・「個別学力検査」・「小論文」・「実技検査」・「面接」・「活動報告書」を課します。各専攻・コースにおいて以下の選抜方法を複数組み合わせることによって、学力（「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等の能力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」）と教職に就くことへの意欲を確かめます。

- ・各教科の基礎的な知識を習得したかどうか、さらに思考力や判断力を確かめるために、「大学入学共通テスト」を課します。
- ・大学で学ぶに十分な知識を習得したかどうか、さらに知識に基づく高度な思考力や表現力を有しているかどうかを確かめるために、「個別学力検査」を課します。
- ・総合的な理解力、思考力、発想力、論理的構成力、表現力などを確かめるために、「小論文」を課します。
- ・大学で専門分野を学ぶに十分な技能や表現力などを有しているかどうか、また専門に対する理解・関心度・意欲を確かめるために、「実技検査」を課します。
- ・論理性・表現力・応用能力をみるとともに、専門分野についての関心や学校教育・教職への熱意・適性などを確かめるために、「面接」を課します。
- ・専門分野についての関心や教職に就くことへの意欲などを確かめるために、「調査書及び志望理由書」の提出を求めます。
- ・高等学校等で経験・修得したさまざまな分野（教育に関する分野を含む）における活動・技能等を確かめるため、「活動報告書」の提出を求めます。

### 3. 入学前に学習しておくことが期待される内容

高等学校卒業程度の基礎的な学力や技能を十分に修得したうえで、大学で学ぶ専門分野への関心を高めてください。さらに、子どもを教育することの意味を考え、学校教員という職業への自覚を深めてください。また、多様な人々とコミュニケーションを図り、そこから学ぶ態度も身に付けてください。

## 「養護教諭養成課程アドミッション・ポリシー」

### 1. 求める学生像

卒業認定・学位授与の方針に定める資質・能力を育成するために編成された教育課程を履修する学生として、次に掲げる人材を広く求めます。

- ・養護教諭をめざすために必要な基礎学力があり、十分な教育実践力を身に付けようとする意欲にあふれる人
- ・養護教諭になることを強く希望し、その意志を持ち続けることのできる人
- ・子どもたちの健康な学校生活を支援することにやりがいと使命を感じる人
- ・人と明るく温かなコミュニケーションが図れる能力や個性を備えている人

### 2. 入学者選抜の基本方針

養護教諭養成課程が求める学生を受け入れるために、次の入学者選抜を実施します。なお、各選抜区分については、学力の3要素を別表のとおり評価します。

一般選抜（前期日程）では、「大学入学共通テスト」・「小論文」を課します。

- ・「大学入学共通テスト」では、各教科の基礎的な知識を習得したかどうか、高等学校での学習の達成度について評価します。
- ・「小論文」では、提示された資料に対する理解力や思考力・発想力・論理的構成力を総合的に評価しますが、文章表現力についても採点・評価の対象とします。
- ・専門分野についての関心や教職に就くことへの意欲などを確かめるために、「調査書及び志望理由書」の提出を求めます。

一般選抜（後期日程）では、「大学入学共通テスト」・「面接」を課します。

- ・「大学入学共通テスト」では、各教科の基礎的な知識を習得したかどうか、高等学校での学習の達成度について評価します。
- ・「面接」を通じて、論理性・表現力・応用能力、健康問題に関する理解をみるとともに、学校教育・教職への熱意・適性について総合的に採点・評価します。
- ・専門分野についての関心や教職に就くことへの意欲などを確かめるために、「調査書及び志望理由書」の提出を求めます。

### 3. 入学前に学習しておくことが期待される内容

高等学校卒業程度の基礎的な学力や技能を十分に習得してください。特に、生物及び化学についての力を身に付けてください。学修していることを前提として講義を行います。



## 「教育協働学科アドミッション・ポリシー」

### 1. 求める学生像

卒業認定・学位授与の方針に定める資質・能力を育成するために編成された教育課程を履修する学生として、次に掲げる人材を広く求めます。

- ・専門性を有しつつ教育理解をもって多様な専門家や市民と協働し、生涯教育社会における学校と地域社会と共に探究心を持って、多様な教育課題の解決を自ら図ることができる人
- ・自らの専門分野で高度な知識や高い技能を修得し、それらと ICT やデータサイエンスを活用して学校、家庭、地域、社会において教育理解を持って連携・協働することに意欲のある人
- ・確かな学力と旺盛な知的好奇心、人間への深い理解を持って、教育協働に資する分野で活躍したいと考えている人

上記の求める学生像に加えて、外国人留学生では次のような人を求めています。

- ・一定の日本語能力と大学教育を受けるに必要な基礎学力を持つ人
- ・日本の文化や社会についての理解や経験を活かして国際的に活躍することをめざす人

### 2. 入学者選抜の基本方針

教育協働学科が求める学生を受け入れるために、次の入学者選抜を実施します。なお、各選抜区分については、学力の3要素を別表のとおり評価します。

学校推薦型選抜では、「大学入学共通テスト」・「小論文」・「実技検査」・「面接」・「演奏能力・創作力または競技成績に関する証明書」を課します。各専攻・コースにおいて、以下の選抜方法を複数組み合わせることによって、学力（「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等の能力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」）と専門への適性を確かめます。

- ・「大学入学共通テスト」では、各教科の基礎的な知識を習得したかどうか、高等学校での学習の達成度について評価します。
- ・「小論文」では、提示された資料に対する理解力や思考力、発想力、論理的構成力を総合的に評価しますが、文章表現力についても評価の対象とします。
- ・「実技検査」では、専門的な実技能力や表現力などを評価します。
- ・「面接」を通じて、論理性や表現力、応用能力をみるとともに、各専門分野への熱意や適性について総合的に評価します。
- ・「演奏能力・創作力または競技成績に関する証明書」では、募集要項に示された出願資格に関わる大会における競技会・発表会の成績で、実技能力や創作力を評価します。
- ・専門への意欲と教育課題への関心を確かめるために、「調査書及び志望理由書」の提出を求めます。

一般選抜（前期日程）では、「大学入学共通テスト」・「個別学力検査」・「小論文」・「実技検査」を課します。各専攻・コースにおいて、以下の選抜方法を複数組み合わせることによって、学力（「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等の能力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」）と専門への適性を確かめます。

- ・「大学入学共通テスト」では、各教科の基礎的な知識を習得したかどうか、高等学校での学習の達成度について評価します。
- ・「個別学力検査」では、大学で学ぶに十分な知識を習得したかどうか、さらに知識に基づく高度な思考

力や洞察力、表現力を有しているかどうかを評価します。

- ・「小論文」では、提示された資料に対する理解力や思考力、発想力、論理的構成力を総合的に評価しますが、文章表現力についても評価の対象とします。
- ・「実技検査」では、専門的な実技能力や表現力などを評価します。
- ・専門への意欲と教育課題への関心を確かめるために、「調査書及び志望理由書」の提出を求めます。

一般選抜（後期日程）では、「大学入学共通テスト」・「個別学力検査」・「小論文」・「実技検査」・「面接」を課します。各専攻・コースにおいて、以下の選抜方法を複数組み合わせることによって、学力（「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等の能力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」）と専門への適性を確かめます。

- ・「大学入学共通テスト」では、各教科の基礎的な知識を習得したかどうか、高等学校での学習の達成度について評価します。
- ・「個別学力検査」では、大学で学ぶに十分な知識を習得したかどうか、さらに知識に基づく高度な思考力や洞察力、表現力を有しているかどうかを評価します。
- ・「小論文」では、提示された資料に対する理解力や思考力、発想力、論理的構成力を総合的に評価しますが、文章表現力についても評価の対象とします。
- ・「実技検査」では、専門的な実技能力や表現力などを評価します。
- ・「面接」を通じて、論理性や表現力、応用能力をみるとともに、各専門分野への熱意や適性について総合的に評価します。
- ・専門への意欲と教育課題への関心を確かめるために、「調査書及び志望理由書」の提出を求めます。

### 3. 入学前に学習しておくことが期待される内容

高等学校卒業程度の基礎的な学力や技能を十分に習得したうえで、幅広い教養と大学で学ぶ専門分野の基礎力を身に付け、教育に関心を持って他者と協働できる心構えを涵養していることを期待しています。

		選抜区分	選抜方法	学力の3要素			教職に就く 強い意欲	
				① 知識・技能	② 思考力・表現力・判断力・等的能力	③ 多様な人々を持つて協働して学ぶ態度		
幼小教育専攻	幼児教育コース	学校推薦型	大学入学共通テスト 実技検査 面接	◎ ◎ ◎	○ ◎ ◎	○ ○ ○	◎ ◎ ◎	
		一般:前期日程	大学入学共通テスト 面接	◎ ◎	○ ○	○ ○	◎ ◎	
	小学校教育コース	学校推薦型	大学入学共通テスト 面接	◎ ◎	○ ◎	○ ◎	◎ ◎	
		一般:前期日程	大学入学共通テスト 小論文 面接	◎ ◎ ◎	○ ◎ ◎	○ ○ ○	◎ ◎ ◎	
	次世代教育専攻	教育探究コース	学校推薦型	大学入学共通テスト 面接 活動報告書	◎ ◎ ◎	○ ◎ ◎	○ ◎ ◎	◎ ◎ ◎
			一般:前期日程	大学入学共通テスト 小論文 活動報告書	◎ ◎ ◎	○ ◎ ◎	○ ○ ◎	◎ ◎ ◎
			一般:後期日程	大学入学共通テスト 面接 活動報告書	◎ ◎ ◎	○ ◎ ◎	○ ◎ ◎	◎ ◎ ◎
		ICT教育コース	一般:前期日程	大学入学共通テスト 個別学力検査 小論文	◎ ◎ ◎	○ ◎ ◎	○ ○ ○	◎ ◎ ◎
			一般:後期日程	大学入学共通テスト 個別学力検査 面接	◎ ◎ ◎	○ ◎ ◎	○ ○ ○	◎ ◎ ◎
			学校推薦型	大学入学共通テスト 面接	◎ ◎	○ ◎	○ ○	◎ ◎
	教科教育専攻	国語教育コース	学校推薦型	大学入学共通テスト 面接	◎ ◎	○ ◎	○ ◎	◎ ◎
			一般:前期日程	大学入学共通テスト 個別学力検査 面接	◎ ◎ ◎	○ ◎ ◎	○ ○ ◎	◎ ◎ ◎
			一般:後期日程	大学入学共通テスト 小論文 面接	◎ ◎ ◎	○ ◎ ◎	○ ○ ◎	◎ ◎ ◎
		英語教育コース	学校推薦型	大学入学共通テスト 面接	◎ ◎	○ ◎	○ ◎	◎ ◎
			一般:前期日程	大学入学共通テスト 個別学力検査 面接	◎ ◎ ◎	○ ◎ ◎	○ ○ ◎	◎ ◎ ◎
		社会科教育コース	学校推薦型	大学入学共通テスト 面接	◎ ◎	○ ◎	○ ◎	◎ ◎
			一般:前期日程	大学入学共通テスト 小論文 面接	◎ ◎ ◎	○ ◎ ◎	○ ○ ◎	◎ ◎ ◎
		数学教育コース	一般:前期日程	大学入学共通テスト 個別学力検査	◎ ◎	○ ◎	○ ○	◎ ◎
			一般:後期日程	大学入学共通テスト 個別学力検査	◎ ◎	○ ◎	○ ○	◎ ◎
		理科教育コース	学校推薦型	大学入学共通テスト 面接	◎ ◎	○ ◎	○ ◎	◎ ◎
			一般:前期日程	大学入学共通テスト 個別学力検査	◎ ◎	○ ◎	○ ○	◎ ◎
			一般:後期日程	大学入学共通テスト 面接	◎ ◎	○ ◎	○ ◎	◎ ◎
	技術教育コース	学校推薦型	小論文 面接	◎ ◎	○ ◎	○ ○	◎ ◎	
		一般:前期日程	大学入学共通テスト 小論文 面接	◎ ◎ ◎	○ ◎ ◎	○ ○ ◎	◎ ◎ ◎	
		一般:後期日程	大学入学共通テスト 調査書及び志望理由書 面接	◎ △ ◎	○ △ ◎	○ ○ ◎	◎ ◎ ◎	
	家政教育コース	学校推薦型	大学入学共通テスト 面接	◎ ◎	○ ◎	○ ◎	◎ ◎	
一般:前期日程		大学入学共通テスト 小論文 面接	◎ ◎ ◎	○ ◎ ◎	○ ○ ◎	◎ ◎ ◎		
一般:後期日程		大学入学共通テスト 面接	◎ ◎	○ ◎	○ ◎	◎ ◎		
保健体育コース	学校推薦型	大学入学共通テスト 面接 実技検査	◎ ◎ ◎	○ ◎ ◎	○ ○ ○	◎ ◎ ◎		
	一般:前期日程	大学入学共通テスト 実技検査 競技成績に関する証明書	◎ ◎ ◎	○ ◎ ◎	○ ○ ○	◎ ◎ ◎		
	一般:後期日程	大学入学共通テスト 実技検査	◎ ◎	○ ◎	○ ○	◎ ◎		
音楽教育コース	学校推薦型	大学入学共通テスト 実技検査	◎ ◎	○ ◎	○ ○	◎ ◎		
	一般:前期日程	大学入学共通テスト 実技検査	◎ ◎	○ ◎	○ ○	◎ ◎		
美術・書道教育コース	学校推薦型【美術分野】	大学入学共通テスト 実技検査 面接	◎ ◎ ◎	○ ◎ ◎	○ ○ ○	◎ ◎ ◎		
	一般:前期日程	大学入学共通テスト 実技検査 面接	◎ ◎ ◎	○ ◎ ◎	○ ○ ◎	◎ ◎ ◎		
	一般:後期日程	大学入学共通テスト 実技検査 面接	◎ ◎ ◎	○ ◎ ◎	○ ○ ◎	◎ ◎ ◎		
	学校推薦型	大学入学共通テスト 面接	◎ ◎	○ ◎	○ ◎	◎ ◎		
特別支援教育専攻	一般:前期日程	大学入学共通テスト 小論文	◎ ◎	○ ◎	○ ○	◎ ◎		
	一般:後期日程	大学入学共通テスト 小論文 面接	◎ ◎ ◎	○ ◎ ◎	○ ○ ◎	◎ ◎ ◎		
	学校推薦型	大学入学共通テスト 面接	◎ ◎	○ ◎	○ ◎	◎ ◎		
小学校教育(夜間)5年専攻	一般:前期日程	大学入学共通テスト 小論文	◎ ◎	○ ◎	○ ○	◎ ◎		
	一般:後期日程	大学入学共通テスト 面接	◎ ◎	○ ◎	○ ◎	◎ ◎		
養護教諭養成課程	一般:前期日程	大学入学共通テスト 小論文	◎ ◎	○ ◎	○ △	◎ ◎		
	一般:後期日程	大学入学共通テスト 面接	◎ ◎	○ ◎	○ ◎	◎ ◎		

※美術・書道教育コースの学校推薦型選抜の募集は美術分野のみ行います。

			選抜区分	選抜方法	学力の3要素			
					① 知識・ 技能	② 思考 表現力・ 判断 の能力・	③ 主体 性を持 つて 学ぶ 態度 と協 働	
教育協働学科	教育イノベーション専攻	数理・知能情報コース	一般:前期日程	大学入学共通テスト 個別学力検査	◎	○		
			一般:後期日程	大学入学共通テスト 個別学力検査	◎	○		
		環境安全科学コース	学校推薦型	大学入学共通テスト 面接	◎	○	○	
			一般:前期日程	大学入学共通テスト 個別学力検査	◎	○		
			一般:後期日程	大学入学共通テスト 小論文	◎	○	△	
			一般:後期日程	大学入学共通テスト 小論文	◎	○	△	
	教育コミュニティ支援専攻	心理科学コース	一般:前期日程	大学入学共通テスト 小論文	◎	○	△	
			一般:後期日程	大学入学共通テスト 小論文	◎	○	△	
		スポーツ健康コース	学校推薦型	小論文 実技検査 面接 競技成績に関する証明書	◎	○	○	
			一般:前期日程	大学入学共通テスト 実技検査	◎	○	○	
			一般:後期日程	大学入学共通テスト 実技検査	◎	○	○	
			一般:後期日程	大学入学共通テスト 実技検査	◎	○	○	
		芸術表現コース	学校推薦型【音楽分野】	小論文 実技検査 演奏能力・創作力に関する証明書	◎	◎	○	
			一般:前期日程	大学入学共通テスト 実技検査	◎	◎		
			一般:後期日程	大学入学共通テスト 実技検査	◎	◎		
			一般:後期日程	大学入学共通テスト 実技検査	◎	◎		
		グローバル教育専攻	日本語教育コース	学校推薦型	大学入学共通テスト 面接	◎	○	◎
				一般:前期日程	大学入学共通テスト 小論文	◎	◎	○
	国際協働英語コース		学校推薦型	大学入学共通テスト 面接	◎	◎	◎	
			一般:前期日程	大学入学共通テスト 個別学力検査	◎	◎	○	

※芸術表現コースの学校推薦型選抜の募集は音楽分野のみ行います。

# 入学者選抜方法等

## (一般選抜)

入学者選抜は、大学入学共通テストの成績、本学の行う個別学力検査等の成績、調査書及び志願者本人が記載する書類等の内容を総合して行います。

日程	選抜方法等			個別学力検査等					
	学部	課程	専攻	コース	個別学力を課す	実技検査を課す	面接を行う	小論文を課す	志願者本人が記載する資料等
前期日程	教育学部	学校教育教員養成課程	幼小教育専攻	幼児教育コース	×	×	○	×	▲(志望理由書)
				小学校教育コース	×	×	×	○	▲(志望理由書)
			次世代教育専攻	教育探究コース	×	×	×	○	○(活動報告書)
				ICT教育コース ※1	○	×	×	○	▲(志望理由書)
			教科教育専攻	国語教育コース	○	×	○	×	▲(志望理由書)
				英語教育コース	○	×	○	×	▲(志望理由書)
				社会科教育コース	×	×	×	○	▲(志望理由書)
				数学教育コース	○	×	×	×	▲(志望理由書)
				理科教育コース	○	×	×	×	▲(志望理由書)
				技術教育コース	×	×	○	○	○(調査書及び志望理由書)
				家政教育コース	×	×	×	○	▲(志望理由書)
				保健体育コース	×	○	×	×	▲(志望理由書)
		音楽教育コース	×	○	×	×	▲(志望理由書)		
		美術・書道教育コース ※2	×	○	○	×	▲(志望理由書)		
		特別支援教育専攻	×	×	×	○	▲(志望理由書)		
		小学校教育(夜間)5年専攻	×	×	×	○	▲(志望理由書)		
		養護教諭養成課程	×	×	×	○	▲(志望理由書)		
		教育協働学科	教育イノベーション専攻	数理・知能情報コース	○	×	×	×	▲(志望理由書)
				環境安全科学コース	○	×	×	×	▲(志望理由書)
			教育コミュニティ支援専攻	心理学コース	×	×	×	○	▲(志望理由書)
スポーツ健康コース	×			○	×	×	▲(志望理由書)		
グローバル教育専攻	芸術表現コース ※3		×	○	×	×	▲(志望理由書)		
	日本語教育コース		×	×	×	○	▲(志望理由書)		
国際協働英語コース	○	×	×	×	▲(志望理由書)				
後期日程	教育学部	学校教育教員養成課程	次世代教育専攻	教育探究コース	×	×	○	×	○(活動報告書)
				ICT教育コース	○	×	○	×	▲(志望理由書)
			教科教育専攻	国語教育コース	×	×	○	○	▲(志望理由書)
				数学教育コース	○	×	×	×	▲(志望理由書)
				理科教育コース	×	×	○	×	▲(志望理由書)
				家政教育コース	×	×	○	×	▲(志望理由書)
				保健体育コース	×	○	×	×	▲(志望理由書)
				美術・書道教育コース ※2	×	○	×	×	▲(志望理由書)
			特別支援教育専攻	×	×	○	○	▲(志望理由書)	
			小学校教育(夜間)5年専攻	×	×	○	×	▲(志望理由書)	
			養護教諭養成課程	×	×	○	×	▲(志望理由書)	
			教育協働学科	教育イノベーション専攻	数理・知能情報コース	○	×	×	×
		環境安全科学コース			×	×	×	○	▲(志望理由書)
		教育コミュニティ支援専攻		心理学コース	×	×	×	○	▲(志望理由書)
				スポーツ健康コース	×	○	×	×	▲(志望理由書)
		芸術表現コース ※3	×	○	×	×	▲(志望理由書)		

○については、該当の選抜方法を実施します。(得点化を行います。)

▲については、他の出願書類と同様に総合判定の際の資料として活用します。(得点化は行いません。)

×については、実施しません。

※1 ICT教育コースは、卒業要件を満たすことにより取得できる教員免許状のパターンを出願時に選択します。

※2 美術・書道教育コースの実技検査は、選択する分野(美術・書道)によって異なります。

※3 芸術表現コースの実技検査は、選択する分野(音楽・美術)によって異なります。

(特別選抜 (学校推薦型選抜) )

入学者選抜は、大学入学共通テストの成績 (大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜及び大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜 (特別枠) ※) , 本学の行う個別学力検査等の成績, 調査書及び志願者本人が記載する書類等の内容を総合して行います。

			選抜方法等	学校推薦型選抜					
				入学定員の一部について、出身学校長の推薦に基づき、個別学力検査を免除し、調査書を主な資料として判定する					
				個別学力検査を免除し、大学入学共通テストを課す	個別学力検査を免除し、大学入学共通テストを免除する	実技検査等			志願者本人が記載する資料等
実技検査を課す	面接を行う	小論文を課す							
学部	課程	専攻	コース						
教育学部	学校教育教員養成課程	幼小教育専攻	幼児教育コース	○	×	○	○	×	▲ (志望理由書)
			小学校教育コース (課す推薦)	○	×	×	○	×	▲ (志望理由書)
			小学校教育コース (課す推薦(特別枠))	○※	×	×	○	×	▲ (志望理由書)
		次世代教育専攻	教育探究コース	○	×	×	○	×	○ (活動報告書) ▲ (志望理由書)
			教科教育専攻	国語教育コース	○	×	×	○	×
		英語教育コース	○	×	×	○	×	▲ (志望理由書)	
		社会科教育コース	○	×	×	○	×	▲ (志望理由書)	
		理科教育コース	○	×	×	○	×	▲ (志望理由書)	
		技術教育コース	×	○	×	○	○	▲ (志望理由書)	
		家政教育コース	○	×	×	○	×	▲ (志望理由書)	
	保健体育コース	○	×	○	○	×	○ (競技成績に関する証明書) ▲ (志望理由書)		
	音楽教育コース	○	×	○	×	×	▲ (志望理由書)		
	美術・書道教育コース【美術分野】	○	×	○	○	×	▲ (志望理由書)		
	特別支援教育専攻	○	×	×	○	×	▲ (志望理由書)		
	教育協働学科	教育イノベーション専攻	環境安全科学コース	○	×	×	○	×	▲ (志望理由書)
		教育コミュニティ支援専攻	スポーツ健康コース	×	○	○	○	○	○ (競技成績に関する証明書) ▲ (志望理由書)
			芸術表現コース【音楽分野】	×	○	○	×	○	○ (演奏能力・創作力に関する証明書) ▲ (志望理由書)
		グローバル教育専攻	日本語教育コース	○	×	×	○	×	▲ (志望理由書)
	国際協働英語コース		○	×	×	○	×	▲ (志望理由書)	

・○については、該当の選抜方法を実施します。(得点化を行います。)

・▲については、他の出願書類と同様に総合判定の際の資料として活用します。(得点化は行いません。)

・×については、実施しません。

※大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜 (特別枠) については、面接及び提出書類の内容を総合判定のうえ、合格内定者を決定します。

その後、大学入学共通テストにおいて、本学の定める教科・科目を受験し、その総合点が満点の60%に達した合格内定者を最終合格者として決定します。

# 令和7年度 学部入学者選抜における大学入学共通テストの 利用方法及び個別学力検査等の概要について（予告）

令和6年3月  
大阪教育大学

今日、学校現場を取り巻く課題が複雑化・多様化しており、学校や教員だけでなく、学校を取り巻く、様々な教育に関わる領域の発展が、必要不可欠となっています。

大阪教育大学では、そのような教育課題を解決するため、学校教育の変革を学校教育の外から支援できる人材を育成すべく、令和7年4月に教育協働学科の専攻・コースの再編を予定しています。

また、令和7年度大阪教育大学入学者選抜における大学入学共通テストの利用及び個別学力検査等を次のとおり実施する予定です。

詳細については、令和6年7月下旬発行予定の入学者選抜要項にてご確認ください。

なお、今後の状況により、本内容を変更した場合は、本学ウェブページにてお知らせします。

## 【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

（注1）教科・科目名は次のように略しています。

『国語』→『国』，『外国語』→『外』，『地理歴史』→『地歴』（公民はそのまま），『数学』→『数』，『理科』→『理』，『情報』→『情』  
『英語（リスニング含む）』→『英（リ）』，『ドイツ語』→『独』，『フランス語』→『仏』，『中国語』→『中』，『韓国語』→『韓』  
『地理総合，地理探究』→『地総，地探』，『歴史総合，日本史探究』→『歴総，日探』，『歴史総合，世界史探究』→『歴総，世探』，  
『地理総合／歴史総合／公共』→『地総／歴総／公』，『公共，倫理』→『公，倫』，『公共，政治・経済』→『公，政経』，  
『数学Ⅰ，数学A』→『数Ⅰ，数A』，『数学Ⅰ』→『数Ⅰ』，『数学Ⅱ，数学B，数学C』→『数Ⅱ，数B，数C』，  
『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』→『物基／化基／生基／地基』，『物理』→『物』，『化学』→『化』，『生物』→『生』，  
『地学』→『地』，『情報Ⅰ』→『情Ⅰ』

（※）地理歴史と公民は独立した教科なので、それぞれ1教科として数えます。共通テスト出願の際には注意してください。

（※）『地理総合／歴史総合／公共（地総／歴総／公）』は地歴と公民両方の範囲を含むため、それぞれの欄に記載しています。

そのため、公民の欄に記載する際は『地総／歴総／公（再掲）』としていますのでご注意ください。

なお、本学における大学入学共通テスト利用科目の選択パターンについては、別紙をご確認ください。

（注2）『地理総合／歴史総合／公共』は「地理総合」、「歴史総合」及び「公共」の3つを出題範囲とし、そのうち2つを選択解答します。

なお、地理歴史及び公民で2科目を選択する場合、以下に注意してください。

・『公共，倫理』と『公共，政治・経済』の組合せを選択することはできません。

・『地理総合／歴史総合／公共』を選択する場合において、選択解答が可能な組合せは以下のとおりとなるので注意してください。

『地理総合，地理探究』を選択する場合、『地理総合／歴史総合／公共』では「歴史総合」及び「公共」の組合せ

『歴史総合，日本史探究』又は『歴史総合，世界史探究』を選択する場合、『地理総合／歴史総合／公共』では「地理総合」及び「公共」の組合せ

『公共，倫理』又は『公共，政治・経済』を選択する場合、『地理総合／歴史総合／公共』では「地理総合」及び「歴史総合」の組合せ

（注3）『数学Ⅱ，数学B，数学C』について、「数学B」及び「数学C」については、数列（数学B），統計的な推測（数学B），ベクトル（数学C）及び平面上の曲線と複素数平面（数学C）の4項目を出題範囲とし、そのうち3項目を選択解答します。

（注4）『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』は「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」及び「地学基礎」の4つを出題範囲とし、そのうち2つを選択解答します。

なお、理科で2科目を選択する場合のうち、『物理基礎，化学基礎，生物基礎，地学基礎』並びに『物理』，『化学』，『生物』及び『地学』から1科目を選択する場合において、**「同一名称を含む科目の組合せ」を選択することはできません。**

「同一名称を含む科目の組合せ」とは、「物理基礎」と「物理」，「化学基礎」と「化学」，「生物基礎」と「生物」，「地学基礎」と「地学」の組合せをいいます。

（注5）大学入学共通テストにおいて、指定した教科・科目数を超えて受験した場合は、原則として最高得点となる組合せの教科・科目の成績を用います。

ただし、地歴，公民から1科目を課す募集区分において2科目を受験した場合、又は理科から1科目を課す募集区分において2科目を受験した場合は、解答順に、前半60分で受験した科目を第1解答科目、後半60分で受験した科目を第2解答科目とし、第1解答科目の成績を用います。

（注6）大学入学共通テストの外国語の「英語」にはリスニングテストを含みます。（リスニングテスト免除者は除く。）

また、英語以外を受験した場合は、筆記（200点満点）の成績をそのまま使用します。

(注7) 平成21年3月告示の高等学校学習指導要領に基づく教育課程履修者への経過措置として、以下の教科における経過措置科目が選択することができます。

- ・地理歴史では『旧世界史A』、『旧世界史B』、『旧日本史A』、『旧日本史B』、『旧地理A』、『旧地理B』
- ・公民では『旧現代社会』、『旧倫理』、『旧政治・経済』、『旧倫理, 旧政治・経済』
- ・数学①グループでは『旧数学I』、『旧数学I・旧数学A』
- ・数学②グループでは『旧数学II』、『旧数学II・旧数学B』、『旧簿記・会計』、『旧情報関係基礎』
- ・情報では『旧情報(仮)』
- ・地理歴史・公民で経過措置科目の選択を希望する場合は以下について注意してください。

**新教育課程の科目と経過措置科目を組み合わせることはできません。希望する場合は出願時に申し出ることとなっているため注意してください。**

また、地理歴史・公民の経過措置科目から2科目を選択する場合、「同一名称を含む科目の組み合わせ」を選択することはできません。

「同一名称を含む科目の組み合わせ」とは、『旧世界史A』と『旧世界史B』、『旧日本史A』と『旧日本史B』、『旧地理A』と『旧地理B』、『旧倫理』と『旧倫理, 旧政治・経済』及び『旧政治・経済』と『旧倫理, 旧政治・経済』の組合せをいいます。

- ・数学で『旧簿記・会計』、『旧情報関係基礎』の選択を希望する場合は出願時に申し出ることとなっているため注意してください。

また、『旧簿記・会計』及び『旧情報関係基礎』を選択解答することができる者は、高等学校等において当該科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了者に限ります。

このことについて、不明な点がある場合は、大学入学共通テストの出願前のできるだけ早い時期に入試課へ問い合わせてください。

## 【個別学力検査等】欄

(注8) 「活動報告書」とは、高校時代等に行った活動実績の概要を記載し、そこで身につけた能力、スキルや経験が教職に就くためにどのように役立つのかなどを記載するものです。

(注9) 個別学力検査の英語は聴き取り試験を行いません。

(注10) 数学の出題範囲は、次のとおりです。

- ・「数学I」, 「数学II」, 「数学III」, 「数学A」は全範囲から出題します。
- ・「数学B」は「数列」, 数学Cは「ベクトル」, 「平面上の曲線と複素数平面」から出題します。

(注11) 理科の出題範囲は、次のとおりです。

- ・「物理基礎・物理」は物理基礎, 物理の全範囲から出題します。
- ・「化学基礎・化学」は化学基礎, 化学の全範囲から出題します。
- ・「生物基礎・生物」は生物基礎, 生物の全範囲から出題します。
- ・「地学基礎・地学」は地学基礎, 地学の全範囲から出題します。

(注12) 英語能力測定試験の詳細については、令和6年7月下旬発行予定の入学者選抜要項または学校推薦型選抜学生募集要項にてご確認ください。

(注13) 平成21年3月告示の高等学校学習指導要領に基づく教育課程履修者への個別学力検査における経過措置は、以下のいずれかの方法を予定しています。

- ・新教育課程による出題科目とこれに対応する旧教育課程の科目との共通の内容を出題します。
- ・共通する範囲のみで出題することが困難と判断される場合には、必要に応じ旧教育課程の科目の範囲から出題する問題を別途用意し、選択解答できるようします。



(別紙) 令和7年度大阪教育大学における大学入学共通テスト利用科目の選択パターンについて

大学入学共通テストの利用教科・科目名		
科目パターン	教科	科目名等
A (文理)	国	『国』 必須
	外	『英(リ)』, 『独』, 『仏』, 『中』, 『韓』 から1
	地歴	『地総, 地探』, 『歴総, 日探』, 『歴総, 世探』, 『地総/歴総/公』(注2) から1又は2
	公民	『公, 倫』, 『公, 政経』, 『地総/歴総/公(再掲)』(注2) から1又は2
	数	『数I, 数A』, 『数I』 から1
		『数II, 数B, 数C』(注3) から1
	理	『物基/化基/生基/地基』, 『物』, 『化』, 『生』, 『地』(注4) から1又は2
	情	『情I』 必須
(6教科8科目又は7教科8科目)		
B (文系)	国	『国』 必須
	外	『英(リ)』, 『独』, 『仏』, 『中』, 『韓』 から1
	地歴	『地総, 地探』, 『歴総, 日探』, 『歴総, 世探』, 『地総/歴総/公』(注2) から2
	公民	『公, 倫』, 『公, 政経』, 『地総/歴総/公(再掲)』(注2) から2
	数	『数I, 数A』, 『数I』 から1
		『数II, 数B, 数C』(注3) から1
	理	『物基/化基/生基/地基』, 『物』, 『化』, 『生』, 『地』(注4) から1
	情	『情I』 必須
(6教科8科目又は7教科8科目)		
C (理系)	国	『国』 必須
	外	『英(リ)』, 『独』, 『仏』, 『中』, 『韓』 から1
	地歴	『地総, 地探』, 『歴総, 日探』, 『歴総, 世探』, 『地総/歴総/公』(注2) から1
	公民	『公, 倫』, 『公, 政経』, 『地総/歴総/公(再掲)』(注2) から1
	数	『数I, 数A』, 『数I』 から1
		『数II, 数B, 数C』(注3) から1
	理	『物基/化基/生基/地基』, 『物』, 『化』, 『生』, 『地』(注4) から2
	情	『情I』 必須
(6教科8科目)		
D (文理)	国	『国』 必須
	外	『英(リ)』, 『独』, 『仏』, 『中』, 『韓』 から1
	地歴	『地総, 地探』, 『歴総, 日探』, 『歴総, 世探』, 『地総/歴総/公』(注2) から1
	公民	『公, 倫』, 『公, 政経』, 『地総/歴総/公(再掲)』(注2) から1
	数	『数I, 数A』, 『数I』 から1
		『数II, 数B, 数C』(注3) から1
	理	『物基/化基/生基/地基』, 『物』, 『化』, 『生』, 『地』(注4) から1
	情	『情I』 必須
(6教科6科目)		
E (文理)	国	『国』 必須
	外	『英(リ)』, 『独』, 『仏』, 『中』, 『韓』 から1
	地歴	『地総, 地探』, 『歴総, 日探』, 『歴総, 世探』, 『地総/歴総/公』(注2) から1
	公民	『公, 倫』, 『公, 政経』, 『地総/歴総/公(再掲)』(注2) から1
	数	『数I, 数A』, 『数I』 から1
		『数II, 数B, 数C』(注3) から1
	理	『物基/化基/生基/地基』, 『物』, 『化』, 『生』, 『地』(注4) から1
	情	『情I』 必須
(4教科4科目)		

令和7年度入学者選抜の実施教科・科目等について

学部	課程・専攻・コース名	大学入学共通テストの利用教科・科目名					日程	個別学力検査等	
		パターン	教科	科目名等				教科等	科目名等
教育学部	学校教育専攻 幼小教育コース	A (文理)	国	『国』	必須	前期	その他	面接	
			外	『英(リ)』、『独』、『仏』、『中』、『韓』	から1				
	地歴	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』、『地総/歴総/公』(注2)	から1又は2※	共通テストを課す推薦	その他	実技検査 面接			
	公民	『公、倫』、『公、政経』、『地総/歴総/公(再掲)』(注2)	から1						
	数	『数Ⅰ、数A』、『数Ⅰ』	から1	共通テストを課す推薦(特別枠)	その他	面接			
	理	『数Ⅱ、数B、数C』(注3)	から1						
	情	『物基/化基/生基/地基』、『物』、『化』、『生』、『地』(注4)	から1又は2※	必須	(6教科8科目又は7教科8科目)	※地歴、公民から2の場合は理科から1、地歴、公民から1の場合は理科から2			
	『情Ⅰ』	必須							
	学校教育専攻 小学校教育コース	A (文理)	国	『国』	必須	前期	その他	小論文	
			外	『英(リ)』、『独』、『仏』、『中』、『韓』	から1				
地歴	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』、『地総/歴総/公』(注2)	から1又は2※	共通テストを課す推薦	その他	面接				
公民	『公、倫』、『公、政経』、『地総/歴総/公(再掲)』(注2)	から1							
数	『数Ⅰ、数A』、『数Ⅰ』	から1	共通テストを課す推薦(特別枠)	その他	面接				
理	『数Ⅱ、数B、数C』(注3)	から1							
情	『物基/化基/生基/地基』、『物』、『化』、『生』、『地』(注4)	から1又は2※	必須	(6教科8科目又は7教科8科目)	※地歴、公民から2の場合は理科から1、地歴、公民から1の場合は理科から2				
『情Ⅰ』	必須								
次世代教育専攻	教育探究コース	A (文理)	国	『国』	必須	前期	その他	小論文 活動報告書(注8)	
			外	『英(リ)』、『独』、『仏』、『中』、『韓』	から1				
			地歴	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』、『地総/歴総/公』(注2)	から1又は2※	共通テストを課す推薦	その他	面接 活動報告書(注8)	
			公民	『公、倫』、『公、政経』、『地総/歴総/公(再掲)』(注2)	から1				
数	『数Ⅰ、数A』、『数Ⅰ』	から1	共通テストを課す推薦	その他	面接 活動報告書(注8)				
理	『数Ⅱ、数B、数C』(注3)	から1							
情	『物基/化基/生基/地基』、『物』、『化』、『生』、『地』(注4)	から1又は2※	必須	(6教科8科目又は7教科8科目)	※地歴、公民から2の場合は理科から1、地歴、公民から1の場合は理科から2				
『情Ⅰ』	必須								
教科教育専攻	ICT教育コース	C (理系)	国	『国』	必須	前期	数 その他	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C(注10) 小論文	
			外	『英(リ)』、『独』、『仏』、『中』、『韓』	から1				
	地歴	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』、『地総/歴総/公』(注2)	から1	共通テストを課す推薦	数 その他	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C(注10) 面接			
	公民	『公、倫』、『公、政経』、『地総/歴総/公(再掲)』(注2)	から1						
数	『数Ⅰ、数A』、『数Ⅰ』	から1	必須	(6教科8科目)					
理	『数Ⅱ、数B、数C』(注3)	から1							
情	『物基/化基/生基/地基』、『物』、『化』、『生』、『地』(注4)	から2							
『情Ⅰ』	必須								
教科教育専攻	国語教育コース	B (文系)	国	『国』	必須	前期	国 その他	現代の国語、言語文化、論理国語、 文学国語、国語表現、古典探究 面接	
			外	『英(リ)』、『独』、『仏』、『中』、『韓』	から1				
	地歴	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』、『地総/歴総/公』(注2)	から2	共通テストを課す推薦	その他	小論文 面接			
	公民	『公、倫』、『公、政経』、『地総/歴総/公(再掲)』(注2)	から1						
数	『数Ⅰ、数A』、『数Ⅰ』	から1	必須	(6教科8科目又は7教科8科目)					
理	『数Ⅱ、数B、数C』(注3)	から1							
情	『物基/化基/生基/地基』、『物』、『化』、『生』、『地』(注4)	から1							
『情Ⅰ』	必須								
教科教育専攻	英語教育コース	A (文理)	国	『国』	必須	前期	外 その他	英文ライティング 面接(英語での受け答え含む)	
			外	『英(リ)』、『独』、『仏』、『中』、『韓』	から1				
	地歴	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』、『地総/歴総/公』(注2)	から1又は2※	共通テストを課す推薦	その他	面接(英語での受け答え含む)			
	公民	『公、倫』、『公、政経』、『地総/歴総/公(再掲)』(注2)	から1						
数	『数Ⅰ、数A』、『数Ⅰ』	から1	必須	(6教科8科目又は7教科8科目)	※地歴、公民から2の場合は理科から1、地歴、公民から1の場合は理科から2 ※英語能力測定試験の成績により個別学力検査等の得点の合計点に得点加算します。(注12)				
理	『数Ⅱ、数B、数C』(注3)	から1							
情	『物基/化基/生基/地基』、『物』、『化』、『生』、『地』(注4)	から1又は2※							
『情Ⅰ』	必須								
教科教育専攻	社会科教育コース	B (文系)	国	『国』	必須	前期	その他	小論文	
			外	『英(リ)』、『独』、『仏』、『中』、『韓』	から1				
	地歴	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』、『地総/歴総/公』(注2)	から2	共通テストを課す推薦	その他	面接			
	公民	『公、倫』、『公、政経』、『地総/歴総/公(再掲)』(注2)	から1						
数	『数Ⅰ、数A』、『数Ⅰ』	から1	必須	(6教科8科目又は7教科8科目)					
理	『数Ⅱ、数B、数C』(注3)	から1							
情	『物基/化基/生基/地基』、『物』、『化』、『生』、『地』(注4)	から1							
『情Ⅰ』	必須								
教科教育専攻	数学教育コース	C (理系)	国	『国』	必須	前期	数 理	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C(注10) 物基・物、化基・化、生基・生、 地基・地 から1(注11) (試験開始後に選択)	
			外	『英(リ)』、『独』、『仏』、『中』、『韓』	から1				
	地歴	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』、『地総/歴総/公』(注2)	から1	共通テストを課す推薦	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C(注10)			
	公民	『公、倫』、『公、政経』、『地総/歴総/公(再掲)』(注2)	から1						
数	『数Ⅰ、数A』、『数Ⅰ』	から1	必須	(6教科8科目)					
理	『数Ⅱ、数B、数C』(注3)	から1							
情	『物基/化基/生基/地基』、『物』、『化』、『生』、『地』(注4)	から2							
『情Ⅰ』	必須								
教科教育専攻	理科教育コース	C (理系)	国	『国』	必須	前期	理	物基・物、化基・化、生基・生、 地基・地 から1(注11) (試験開始後に選択)	
			外	『英(リ)』、『独』、『仏』、『中』、『韓』	から1				
	地歴	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』、『地総/歴総/公』(注2)	から1	共通テストを課す推薦	その他	面接			
	公民	『公、倫』、『公、政経』、『地総/歴総/公(再掲)』(注2)	から1						
数	『数Ⅰ、数A』、『数Ⅰ』	から1	必須	(6教科8科目)					
理	『数Ⅱ、数B、数C』(注3)	から1							
情	『物基/化基/生基/地基』、『物』、『化』、『生』、『地』(注4)	から2							
『情Ⅰ』	必須								
教科教育専攻	技術教育コース	C (理系)	国	『国』	必須	前期	その他	小論文 面接 調査書及び志望理由書	
			外	『英(リ)』、『独』、『仏』、『中』、『韓』	から1				
	地歴	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』、『地総/歴総/公』(注2)	から1	共通テストを課さない推薦	その他	小論文 面接			
	公民	『公、倫』、『公、政経』、『地総/歴総/公(再掲)』(注2)	から1						
数	『数Ⅰ、数A』、『数Ⅰ』	から1	必須	(6教科8科目)					
理	『数Ⅱ、数B、数C』(注3)	から1							
情	『物基/化基/生基/地基』、『物』、『化』、『生』、『地』(注4)	から2							
『情Ⅰ』	必須								

学部	課程・専攻・コース名	大学入学共通テストの利用教科・科目名				日程	個別学力検査等	
		パターン	教科	科目名等	教科等		科目名等	
教育学部	家政教育コース	A (文理)	国	『国』	必須	前期	その他	小論文
			外	『英(リ)』、『独』、『仏』、『中』、『韓』	から1			
	地歴	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』、『地総/歴総/公』(注2)	から1又は2※	後期	その他	面接		
	公民	『公、倫』、『公、政経』、『地総/歴総/公(再掲)』(注2)	から1又は2※					
	数	『数Ⅰ、数A』、『数Ⅰ』	から1	共通テストを課す推薦	その他	面接		
	理	『数Ⅱ、数B、数C』(注3)	から1					
	情	『物基/化基/生基/地基』、『物』、『化』、『生』、『地』(注4)	から1又は2※	必須				
(6教科8科目又は7教科8科目)								
※地歴、公民から2の場合は理科から1、地歴、公民から1の場合は理科から2								
保健体育コース	D (文理)	国	『国』	必須	前期	その他	実技検査	
		外	『英(リ)』、『独』、『仏』、『中』、『韓』	から1				
地歴	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』、『地総/歴総/公』(注2)	から1	後期	その他	実技検査			
公民	『公、倫』、『公、政経』、『地総/歴総/公(再掲)』(注2)	から1						
数	『数Ⅰ、数A』、『数Ⅰ』	から1	共通テストを課す推薦	その他	実技検査 面接 競技成績に関する証明書			
理	『数Ⅱ、数B、数C』(注3)	から1						
情	『物基/化基/生基/地基』、『物』、『化』、『生』、『地』(注4)	から1	必須					
(6教科6科目)								
音楽教育コース	D (文理)	国	『国』	必須	前期	その他	実技検査	
		外	『英(リ)』、『独』、『仏』、『中』、『韓』	から1				
地歴	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』、『地総/歴総/公』(注2)	から1	後期	その他	実技検査			
公民	『公、倫』、『公、政経』、『地総/歴総/公(再掲)』(注2)	から1						
数	『数Ⅰ、数A』、『数Ⅰ』	から1	共通テストを課す推薦	その他	実技検査			
理	『数Ⅱ、数B、数C』(注3)	から1						
情	『物基/化基/生基/地基』、『物』、『化』、『生』、『地』(注4)	から1	必須					
(6教科6科目)								
美術・書道教育コース	D (文理)	国	『国』	必須	前期	その他	実技検査 面接	
		外	『英(リ)』、『独』、『仏』、『中』、『韓』	から1				
地歴	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』、『地総/歴総/公』(注2)	から1	後期	その他	実技検査			
公民	『公、倫』、『公、政経』、『地総/歴総/公(再掲)』(注2)	から1						
数	『数Ⅰ、数A』、『数Ⅰ』	から1	共通テストを課す推薦	その他	実技検査 面接			
理	『数Ⅱ、数B、数C』(注3)	から1						
情	『物基/化基/生基/地基』、『物』、『化』、『生』、『地』(注4)	から1	必須					
(6教科6科目)								
※【美術分野】のみ共通テストを課す推薦を実施します。(【書道分野】は実施しません。)								
特別支援教育専攻	A (文理)	国	『国』	必須	前期	その他	小論文	
		外	『英(リ)』、『独』、『仏』、『中』、『韓』	から1				
地歴	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』、『地総/歴総/公』(注2)	から1又は2※	後期	その他	小論文 面接			
公民	『公、倫』、『公、政経』、『地総/歴総/公(再掲)』(注2)	から1又は2※						
数	『数Ⅰ、数A』、『数Ⅰ』	から1	共通テストを課す推薦	その他	面接			
理	『数Ⅱ、数B、数C』(注3)	から1						
情	『物基/化基/生基/地基』、『物』、『化』、『生』、『地』(注4)	から1又は2※	必須					
(6教科8科目又は7教科8科目)								
※地歴、公民から2の場合は理科から1、地歴、公民から1の場合は理科から2								
小学校教育(夜間)5年専攻	A (文理)	国	『国』	必須	前期	その他	小論文	
		外	『英(リ)』、『独』、『仏』、『中』、『韓』	から1				
地歴	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』、『地総/歴総/公』(注2)	から1又は2※	後期	その他	面接			
公民	『公、倫』、『公、政経』、『地総/歴総/公(再掲)』(注2)	から1又は2※						
数	『数Ⅰ、数A』、『数Ⅰ』	から1	共通テストを課す推薦	その他	面接			
理	『数Ⅱ、数B、数C』(注3)	から1						
情	『物基/化基/生基/地基』、『物』、『化』、『生』、『地』(注4)	から1又は2※	必須					
(6教科8科目又は7教科8科目)								
※地歴、公民から2の場合は理科から1、地歴、公民から1の場合は理科から2								
養護教諭養成課程	A (文理)	国	『国』	必須	前期	その他	小論文	
		外	『英(リ)』、『独』、『仏』、『中』、『韓』	から1				
地歴	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』、『地総/歴総/公』(注2)	から1又は2※	後期	その他	面接			
公民	『公、倫』、『公、政経』、『地総/歴総/公(再掲)』(注2)	から1又は2※						
数	『数Ⅰ、数A』、『数Ⅰ』	から1	共通テストを課す推薦	その他	面接			
理	『数Ⅱ、数B、数C』(注3)	から1						
情	『物基/化基/生基/地基』、『物』、『化』、『生』、『地』(注4)	から1又は2※	必須					
(6教科8科目又は7教科8科目)								
※地歴、公民から2の場合は理科から1、地歴、公民から1の場合は理科から2								

学部	課程・専攻・コース名	大学入学共通テストの利用教科・科目名			日程	個別学力検査等	
		パターン	教科	科目名等		教科等	科目名等
教育学部	教育イノベーション 国際協働学科 数理解・知能情報コース	A (文理)	国外	『国』 必須 『英(リ)』、『独』、『仏』、『中』、『韓』 から1	前期	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C(注10)
			地歴	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』、『地総/歴総/公』(注2) から1又は2※			
			公民	『公、倫』、『公、政経』、『地総/歴総/公(再掲)』(注2) から1			
			数	『数Ⅰ、数A』、『数Ⅱ』 から1			
			理	『数Ⅱ、数B、数C』(注3) から1			
			情	『物基/化基/生基/地基』、『物』、『化』、『生』、『地』(注4) から1又は2※ 『情Ⅰ』 必須			
	(6教科8科目又は7教科8科目) ※地歴、公民から2の場合は理科から1、地歴、公民から1の場合は理科から2			後期	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C(注10)	
	環境安全科学コース	A (文理)	国外	『国』 必須 『英(リ)』、『独』、『仏』、『中』、『韓』 から1	前期	理	物基・物、化基・化、生基・生、地基・地 から1(注11) (試験開始後に選択)
			地歴	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』、『地総/歴総/公』(注2) から1又は2※			
			公民	『公、倫』、『公、政経』、『地総/歴総/公(再掲)』(注2) から1			
			数	『数Ⅰ、数A』、『数Ⅱ』 から1			
			理	『数Ⅱ、数B、数C』(注3) から1			
情			『物基/化基/生基/地基』、『物』、『化』、『生』、『地』(注4) から1又は2※ 『情Ⅰ』 必須				
(6教科8科目又は7教科8科目) ※地歴、公民から2の場合は理科から1、地歴、公民から1の場合は理科から2			後期	その他	小論文		
心理科学コース	A (文理)	国外	『国』 必須 『英(リ)』、『独』、『仏』、『中』、『韓』 から1	前期	その他	小論文	
		地歴	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』、『地総/歴総/公』(注2) から1又は2※				
		公民	『公、倫』、『公、政経』、『地総/歴総/公(再掲)』(注2) から1				
		数	『数Ⅰ、数A』、『数Ⅱ』 から1				
		理	『数Ⅱ、数B、数C』(注3) から1				
		情	『物基/化基/生基/地基』、『物』、『化』、『生』、『地』(注4) から1又は2※ 『情Ⅰ』 必須				
(6教科8科目又は7教科8科目) ※地歴、公民から2の場合は理科から1、地歴、公民から1の場合は理科から2			後期	その他	小論文		
スポーツ健康コース	E (文理)	国外	『国』 必須 『英(リ)』、『独』、『仏』、『中』、『韓』 から1	前期	その他	実技検査	
		地歴	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』、『地総/歴総/公』(注2) から1				
		公民	『公、倫』、『公、政経』、『地総/歴総/公(再掲)』(注2) から1				
		数	『数Ⅰ、数A』、『数Ⅱ』 から1				
		理	『数Ⅱ、数B、数C』(注3) から1				
		情	『物基/化基/生基/地基』、『物』、『化』、『生』、『地』(注4) から1又は2※ 『情Ⅰ』 必須				
(4教科4科目)			後期	その他	実技検査		
※ 英語能力測定試験の成績により個別学力検査等の得点の合計点に得点加算します。(注12)				共通テストを課さない推薦	その他	小論文 実技検査 面接 競技成績に関する証明書	
芸術表現コース	E (文理)	国外	『国』 必須 『英(リ)』、『独』、『仏』、『中』、『韓』 から1	前期	その他	実技検査	
		地歴	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』、『地総/歴総/公』(注2) から1				
		公民	『公、倫』、『公、政経』、『地総/歴総/公(再掲)』(注2) から1				
		数	『数Ⅰ、数A』、『数Ⅱ』 から1				
		理	『数Ⅱ、数B、数C』(注3) から1				
		情	『物基/化基/生基/地基』、『物』、『化』、『生』、『地』(注4) から1又は2※ 『情Ⅰ』 必須				
(4教科4科目)			後期	その他	実技検査		
※【音楽分野】のみ共通テストを課さない推薦を実施します。(【美術分野】は実施しません。)				共通テストを課さない推薦	その他	小論文 実技検査 演奏能力・創作力に関する証明書	
グローバル教育専攻	日本語教育コース	E (文理)	国外	『国』 必須 『英(リ)』、『独』、『仏』、『中』、『韓』 から1	前期	その他	小論文
			地歴	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』、『地総/歴総/公』(注2) から1			
			公民	『公、倫』、『公、政経』、『地総/歴総/公(再掲)』(注2) から1			
	国際協働英語コース	E (文理)	国外	『国』 必須 『英(リ)』、『独』、『仏』、『中』、『韓』 から1	前期	外	英語コミュニケーションⅠ、 英語コミュニケーションⅡ、 英語コミュニケーションⅢ、 論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、 論理・表現Ⅲ (聞き取り試験を含まない。)(注9)
			地歴	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』、『地総/歴総/公』(注2) から1			
			公民	『公、倫』、『公、政経』、『地総/歴総/公(再掲)』(注2) から1			
(4教科4科目) ※英語能力測定試験の成績により個別学力検査等の得点の合計点に得点加算します。(注12)			共通テストを課す推薦	その他	面接		



学部	課程・学科・専攻・コース		日程	試験の区分	国語	地歴 公民	数学	理科	外国語	情報	小論文	実技	面接	証明書	その他	小計	合計	加点		
教育学部	学校教育教員養成課程	理科教育コース	前期	共通テスト	200	100	★400	200	200	50						1150	1750			
				個別学力検査等				600											600	
			後期	共通テスト	200	100	★400	★400	200	50								1350	1950	
				個別学力検査等								600					600			
			課す推薦	共通テスト	200	100	200	★400	200	50								1150	1550	
				個別学力検査等										400			400			
		技術教育コース	前期	共通テスト	200	100	200	200	200	50								950	1460	
				個別学力検査等							300		140			■70	510			
			後期	後期日程は募集を行いません。																
		課さない 推薦	個別学力検査等									250		250				500	500	
			前期	共通テスト	200	※200 ※100	200	※100 ※200	200	50								950	1250	
				個別学力検査等							300						300			
	後期	共通テスト	200	※200 ※100	200	※100 ※200	200	50								950	1550			
		個別学力検査等									600				600					
	課す推薦	共通テスト	200	※200 ※100	200	※100 ※200	200	50								950	1550			
		個別学力検査等										600			600					
	保健体育コース	前期	共通テスト	200	100	100	100	200	50								750	1310		
			個別学力検査等									560				560				
		後期	共通テスト	200	100	100	100	200	50								750	1150		
			個別学力検査等									400				400				
		課す推薦	共通テスト	200	100	100	100	200	50								750	1310		
			個別学力検査等									210	200	150		560				
	音楽教育コース	前期	共通テスト	200	100	100	100	200	50								750	1310		
			個別学力検査等									560				560				
		後期	後期日程は募集を行いません。																	
		課す推薦	共通テスト	200	100	100	100	200	50								750	1310		
	個別学力検査等										560				560					
美術・書道教育コース	前期	共通テスト	200	100	100	100	200	50								750	1300			
		個別学力検査等									350	200			550					
	後期	共通テスト	200	100	100	100	200	50								750	1300			
		個別学力検査等									550				550					
	課す推薦 【美術分野】	共通テスト	200	100	100	100	200	50								750	1450			
		個別学力検査等									500	200			700					
特別支援教育専攻	前期	共通テスト	200	※200 ※100	200	※100 ※200	200	50								950	1250			
		個別学力検査等							300						300					
	後期	共通テスト	200	※200 ※100	200	※100 ※200	200	50								950	1400			
		個別学力検査等							300		150				450					
	課す推薦	共通テスト	200	※200 ※100	200	※100 ※200	200	50								950	1250			
		個別学力検査等										300			300					
小学校教育（夜間）5年専攻	前期	共通テスト	200	※200 ※100	200	※100 ※200	200	50								950	1250			
		個別学力検査等							300						300					
	後期	共通テスト	200	※200 ※100	200	※100 ※200	200	50								950	1400			
		個別学力検査等									450				450					
養護教諭養成課程	前期	共通テスト	200	※200 ※100	200	※100 ※200	200	50								950	1250			
		個別学力検査等							300						300					
	後期	共通テスト	200	※200 ※100	200	※100 ※200	200	50								950	1250			
		個別学力検査等									300				300					

学部	課程・学科・専攻・コース		日程	試験の区分	国語	地歴 公民	数学	理科	外国語	情報	小論文	実技	面接	証明書	その他	小計	合計	加算		
教育学部	教育協働学科	数理・知能情報コース	前期	共通テスト	200	※200 ※100	200	※100 ※200	200	50						950	1550			
				個別学力検査			600											600		
		後期	共通テスト	200	※200 ※100	200	※100 ※200	200	50								950	1550		
			個別学力検査			600										600				
		環境安全科学コース	前期	共通テスト	200	※200 ※100	200	※100 ※200	200	50								950	1550	
				個別学力検査			600										600			
	後期		共通テスト	200	※200 ※100	200	※100 ※200	200	50								950	1550		
			個別学力検査			600			600							600				
	課す推薦	共通テスト	200	※200 ※100	200	※100 ※200	200	50								950	1550			
		個別学力検査			600								600		600					
	教育コミュニケーション 支援専攻	心理学コース	前期	共通テスト	200	※200 ※100	200	※100 ※200	200	50							950	1400		
				個別学力検査						450						450				
		後期	共通テスト	200	※200 ※100	200	※100 ※200	200	50								950	1600		
			個別学力検査						650						650					
		スポーツ健康コース	前期	共通テスト	200	*100	*100	*100	200	50							550	1050		
				個別学力検査									500			500				
			後期	共通テスト	200	*100	*100	*100	200	50							550	1050		
				個別学力検査									500			500				
		共通テストを 課さない推薦	個別学力検査								100	200	100	100		500	500	最大 50		
		芸術表現コース	前期	共通テスト	200	*100	*100	*100	200	50							550	1050		
				個別学力検査									500			500				
	後期		共通テスト	200	*100	*100	*100	200	50							550	1050			
			個別学力検査									500			500					
共通テストを 課さない推薦 【音楽分野】	個別学力検査								150	250		100		500	500					
グローバル教育専攻	日本語教育コース	前期	共通テスト	200	*100	*100	*100	200	50						550	850				
			個別学力検査							300					300					
	共通テストを 課す推薦	共通テスト	200	*100	*100	*100	200	50						550	850					
		個別学力検査										300		300						
	国際協働英語コース	前期	共通テスト	200	*100	*100	*100	★400	50						750	1050	最大 60			
			個別学力検査						300						300					
共通テストを 課す推薦	共通テスト	200	*100	*100	*100	★400	50						750	1050	最大 100					
	個別学力検査										300		300							

## 配点欄における記号・注釈について

※印を付してある2教科は、一方が100の場合は、もう一方は200となります。

\*印は、選択教科を表しています。

★印は、傾斜配点をしている教科を表しています。（傾斜配点については下記を参照してください。）

◎印は、活動報告書を表しています。

■印は、調査書及び志望理由書を表しています。

◆印は、令和7年度大学入学共通テストにおいて本学の定める教科・科目を受験し、その総合点が満点の60%に達した合格内定者を最終合格者として決定します。

●印について、ICT教育コースは、卒業要件を満たすことにより取得できる教員免許状のパターンを出願時に選択します。

## 傾斜配点について

大学入学共通テストの外国語「英語」でリスニングテストを免除されている場合は、リーディング試験100点満点を200点満点に換算した成績を用います。

また、「英語」以外の外国語を受験した場合は、筆記（200点満点）の成績をそのまま利用します。

（ただし、英語教育コース及び国際協働英語コースは400点に換算します。）

その他、大学入学共通テストの1つ又は2つの教科に傾斜をかけている専攻・コースと、その教科・係数等は下表のとおりです。

なお、傾斜配点により端数が生じた場合は、四捨五入により行います。

課程・学科・専攻・コース	日程等	教科・科目	素点 (A)	係数 (B)	配点 (A×B)	共通テスト 配点合計
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 英語教育コース	前期	外国語	200	2	400	1150
	課す推薦					
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 社会科教育コース	課す推薦	地理歴史 及び公民 (注)	200	2	400	1150
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 理科教育コース	前期	数学	200	2	400	1150
	後期	数学	200	2	400	1350
		理科	200	2	400	
課す推薦	理科	200	2	400	1150	
教育協働学科 グローバル教育専攻 国際協働英語コース	前期	外国語	200	2	400	750
	課す推薦					

(注) 地理歴史及び公民から合わせて2科目。



## 特別選抜（学校推薦型選抜）出願資格及び要件

### 大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜

課程・専攻・コース	出願資格及び要件												
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 技術教育コース	<p>次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者</p> <p>(1) 次の①②のいずれかの項目に該当する者</p> <p>① 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和7年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和6年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和6年度中に修了又は修了見込みの者で、工業に関する学科を履修見込み、若しくは総合学科において工業に関する教科・科目を25単位以上履修見込みの者（ただし、普通教科・科目の履修により専門教科・科目の履修と同様の成果が期待できる場合においては、その普通教科・科目の単位を5単位まで単位数の中を含めることができる。）</p> <p>② 高等専門学校第3学年を令和7年3月に修了見込みの者</p> <p>(2) (1)①の者であって、調査書の全体の学習成績の状況が4.2以上の者                      (1)②の者であって、必須科目に未履修単位がなく、高等専門学校で修得した単位数を次の式にあてはめた値（小数点第2位を四捨五入）が2.4以上の者</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <math display="block">\{(\text{秀の単位数} \times 4) + (\text{優の単位数} \times 3) + (\text{良の単位数} \times 2) + (\text{可の単位数} \times 1)\} \div (\text{総履修単位数})</math> </div> <p>ただし、成績評価は100点満点をもってするものとし、それぞれの評語は次の評点区分とする。</p> <table border="1" style="margin: 10px auto; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>評語</th> <th>秀</th> <th>優</th> <th>良</th> <th>可</th> <th>不可</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>評点</td> <td>100～90点</td> <td>89～80点</td> <td>79～70点</td> <td>69～60点</td> <td>59～0点</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 将来、小学校教員や中学校・高等学校の技術教育に携わる教員を強く志望する者</p> <p>(4) 技術に関する高い興味と適性を備え、ものづくり教育・技術教育にかかわる学習意欲が旺盛であると認められる者</p>	評語	秀	優	良	可	不可	評点	100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	59～0点
評語	秀	優	良	可	不可								
評点	100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	59～0点								
教育協働学科 教育コミュニティ 支援専攻 スポーツ健康コース	<p>次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者</p> <p>ただし、推薦人数は各種目につき1校2名以内とする。</p> <p>(1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和7年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和6年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和6年度中に修了又は修了見込みの者</p> <p>(2) 高等学校在籍中に、次の運動種目のいずれかにおいて、団体又は個人種目において全国ベスト16以上の者（実際にプレーしなかった大会は除く）又は団体種目において全国選抜若しくは全国優秀選手に選ばれた者</p> <p>（出願資格に関わる大会名等については、次頁参照）</p> <p style="text-align: center;">陸上競技、バスケットボール、サッカー、バレーボール、                      硬式テニス、体操競技、ダンス、柔道、剣道</p> <p>(3) 調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上の者</p> <p>(4) 当該スポーツ活動を継続しようとする意志が強固で、かつ、将来、スポーツの指導者を希望する者</p>												

大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜

出願資格に関わる大会名一覧〔教育コミュニティ支援専攻スポーツ健康コース〕

種目名	大会名等
陸上競技 ＜リレー種目は除く＞	◇全国高等学校総合体育大会（インターハイ）＜リレー種目は除く＞ ◇国民体育大会＜リレー種目は除く＞ ◇日本陸上競技選手権大会（リレー競技・クロスカントリー競技・混成競技含む） ◇日本グランプリシリーズ指定大会 GP 種目 ◇JOC ジュニアオリンピックカップU20・U18陸上競技選手権大会
バスケットボール	◇全国高等学校総合体育大会（インターハイ） ◇国民体育大会 ◇全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会
サッカー	◇全国高等学校総合体育大会（インターハイ） ◇国民体育大会 ◇全国高等学校サッカー選手権大会 ◇高円宮杯 JFA U-18 サッカープレミアリーグ ※2 ◇日本クラブユースサッカー選手権（U-18）大会 ◇Jユースリーグ ※2 ◇全日本高等学校女子サッカー選手権大会 ◇全日本 U-18 女子サッカー選手権大会
バレーボール	◇全国高等学校総合体育大会（インターハイ） ◇国民体育大会 ◇全日本バレーボール高等学校選手権大会
硬式テニス	◇全国高等学校総合体育大会（インターハイ） ◇全国選抜高校テニス大会 ◇国民体育大会 ◇全日本ジュニアテニス選手権 ◇全日本ジュニア選抜室内テニス選手権大会（JOC ジュニアオリンピックカップ） ◇ITF ジュニアテニス大会（グレード2以上）
体操競技	◇全国高等学校総合体育大会（インターハイ） ◇国民体育大会 ◇全国高等学校体操競技選抜大会 ◇全日本ジュニア体操競技選手権大会
ダンス	◇全日本高校・大学ダンスフェスティバル ◇全国レベルの洋舞（バレエ・モダン・コンテンポラリー）コンクール ◇全国レベルのストリートダンス（チアダンスは含まない）コンテストや大会
柔道	◇全国高等学校総合体育大会（インターハイ） ◇国民体育大会 ◇全国高等学校柔道選手権大会 ◇金鷲旗高校柔道大会 ◇全日本ジュニア柔道体重別選手権大会
剣道	◇全国高等学校総合体育大会（インターハイ） ◇国民体育大会 ◇全国高等学校剣道選抜大会 ◇玉竜旗高校剣道大会 ◇全国都道府県対抗剣道優勝大会 ◇全国都道府県対抗女子剣道優勝大会

※1 上記のほか、全日本選手権大会（同等の大会を含む。）あるいは日本代表の資格で出場した国際大会等も対象となることがありますので、これらの大会等に参加した者は入試課へ問い合わせてください。

※2 高円宮杯JFA U-18サッカープレミアリーグに関しては、今年度9節終了時点で東・西各ブロック、8位まで出願可とします。Jユースリーグに関して当該年度に当たっては、出願時各ブロック2位まで出願可とします。

※3 出願資格及び要件について不明な点がある場合は、出願に先立ち早めに入試課へ問い合わせてください。

学科・専攻	出願資格及び要件
教育協働学科 教育コミュニティ 支援専攻 芸術表現コース 【音楽分野】	<p>次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者</p> <p>(1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和7年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和6年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和6年度中に修了又は修了見込みの者</p> <p>(2) 次のA、Bのいずれかに該当する者            A 高等学校の音楽科（それに準ずるコース等）に在籍する者で、実技（作曲・声楽・器楽）が特に優秀と認められる者（ただし、音楽関係科目等を13単位以上履修見込みの者に限る。）            B 高等学校在籍中に作曲、声楽（独唱・重唱・合唱）、器楽（独奏・重奏・管楽・吹奏楽）の分野で、全国レベル又はそれに準ずるコンクールに入賞・入選した者又は主催者の推薦を受けて出演した者。又は、それに相当する実技能力を有すると学校長が判断する者。ただし、推薦人数は作曲・声楽・ピアノ・管打楽器の区分ごとに1校2名以内とする。  <b>【出願資格に関わるコンクール名については、下記を参照すること。】</b></p> <p>ただし、器楽についてはA、Bとも次の楽器に限る。            ピアノ、フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、サクソフォーン、ホルン、トランペット、トロンボーン、バス・トロンボーン、ユーフォニアム、チューバ、パーカッション</p> <p>(3) 調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上の者</p> <p>(4) 音楽活動を継続しようとする意志が強固で、かつ、将来、音楽を通して教育協働の分野での活動を希望する者            ※美術分野については、学校推薦型選抜の募集は行いません。</p>

大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜

**出願資格に関わるコンクール名〔教育コミュニティ支援専攻芸術表現コース【音楽分野】〕**

作曲	
コンクール	対象
朝日作曲賞（合唱曲作曲部門・吹奏楽曲作曲部門）	入賞及び入選者
声楽	
コンクール	対象
全日本学生音楽コンクール（毎日新聞社主催）の地区大会	入賞及び入選者
全日本合唱コンクール全国大会	出場資格を得た者
NHK全国学校音楽コンクール全国コンクール	
瀧廉太郎記念全日本高等学校声楽コンクール	
器楽（ピアノ）	
コンクール	対象
全日本学生音楽コンクール（毎日新聞社主催）の地区大会	入賞及び入選者
器楽（管打楽器）	
コンクール	対象
全日本学生音楽コンクール（毎日新聞社主催）の地区大会	入賞及び入選者
全日本吹奏楽コンクール全国大会	出場資格を得た者
全日本アンサンブルコンテスト全国大会	

- ※ 全国レベル又はそれに準ずるコンクールとは、原則として上記のものです。
- ※ 参加コンクールと同一種目（志望する専門）で受験してください。
- ※ 全日本合唱コンクール全国大会、全日本吹奏楽コンクール全国大会、全日本アンサンブルコンテスト全国大会については、在籍する高等学校から出場した場合に限ります。

## 大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜

次のいずれかに該当する者で、令和7年度大学入学共通テストにおいて、本学が各募集区分で指定した教科・科目を受験する者。

**なお、大学入学共通テストの外国語で英語を受験する場合は、必ずリスニングテストを受験すること。**（リスニングテスト免除者は除く。）

大学 入学 共通 テスト を 課 す 学 校 推 薦 型 選 抜	課程・専攻・コース	出願資格及び要件
	学校教育教員養成課程 幼小教育専攻 幼児教育コース	次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者 (1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和7年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和6年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和6年度中に修了又は修了見込みの者 (2) 調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の者 (3) 将来、幼稚園での学校教育に携わる教員を強く志望する者
	学校教育教員養成課程 幼小教育専攻 小学校教育コース	次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者 (1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和7年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和6年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和6年度中に修了又は修了見込みの者 (2) 調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の者 (3) 将来、小学校での学校教育に携わる教員を強く志望する者
	学校教育教員養成課程 次世代教育専攻 教育探究コース	次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者 (1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和7年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和6年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和6年度中に修了又は修了見込みの者 (2) 調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の者 (3) 将来、学校教員となることを強く志望する者 (4) 学校教育のさまざまな現代的課題に対して強い関心を持ち、教育科学に関わる学際的な知識を学んで、学校教育のあり方を探究していこうとする意欲を持つ者
	学校教育教員養成課程 教科教育専攻 国語教育コース	次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者 (1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和7年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和6年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和6年度中に修了又は修了見込みの者 (2) 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者で、国語の学習成績の状況が4.3以上の者 (3) 国語科分野に深い関心を持ち、将来、小学校教員や中学校・高等学校の国語科分野の教員を強く志望する者

	課程・専攻・コース	出願資格及び要件
大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜	学校教育教員養成課程 教科教育専攻 英語教育コース	<p>次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者</p> <p>(1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和7年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和6年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和6年度中に修了又は修了見込みの者</p> <p>(2) 調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の者で、英語に関する科目の学習成績の状況が4.2以上の者</p> <p>(3) 英語教育に深い関心を持ち、将来、小学校教員や中学校・高等学校の英語の教員を強く志望する者</p>
	学校教育教員養成課程 教科教育専攻 社会科教育コース	<p>次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者</p> <p>(1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和7年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和6年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和6年度中に修了又は修了見込みの者</p> <p>(2) 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者</p> <p>(3) 社会科分野に深い関心を持ち、将来、小学校教員や中学校・高等学校の社会科分野の教員を強く志望する者</p>
	学校教育教員養成課程 教科教育専攻 理科教育コース	<p>次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者</p> <p>(1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和7年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和6年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和6年度中に修了又は修了見込みの者</p> <p>(2) 調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の者</p> <p>(3) 理科に深い関心を持ち、将来、小学校教員や中学校・高等学校の理科分野の教員を強く志望する者</p>
	学校教育教員養成課程 教科教育専攻 家政教育コース	<p>次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者</p> <p>(1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和7年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和6年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和6年度中に修了又は修了見込みの者</p> <p>(2) 調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の者</p> <p>(3) 家庭科に深い関心を持ち、将来、小学校教員や中学校・高等学校の家庭科の教員を強く志望する者</p>

課程・学科・専攻等	出願資格及び要件
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 保健体育コース	<p>次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者</p> <p>(1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和7年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和6年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和6年度中に修了又は修了見込みの者</p> <p>(2) 調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上の者</p> <p>(3) 保健体育科教育への深い関心と高い体育実技能力を持ち、将来、小学校教員や中学校・高等学校の保健体育の教員を強く志望する者</p> <p>(4) 高等学校在籍中に、次の運動種目のいずれかにおいて、団体種目で都道府県大会決勝進出以上の成績を収めた者又は個人種目で各ブロック高体連主催の大会でベスト16以上の成績を収めた者</p> <p style="padding-left: 40px;">陸上競技、バスケットボール、サッカー、ラグビーフットボール、バレーボール、ハンドボール、卓球、硬式テニス、ソフトテニス、硬式野球、バドミントン、体操競技、ダンス、柔道、剣道、水泳競技（競泳）</p> <p>各ブロック高体連主催大会名（個人種目のみ対象）            全道高校体育大会、東北高等学校選手権大会、関東高等学校体育大会、北信越高等学校体育大会、東海高等学校総合体育大会、近畿高等学校（種目名）大会、中国高等学校選手権大会、四国高等学校選手権大会、全九州高等学校体育大会</p>
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 音楽教育コース	<p>次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者</p> <p>(1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和7年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和6年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和6年度中に修了又は修了見込みの者</p> <p>(2) 調査書の全体の学習成績の状況が3.6以上の者で、音楽の学習成績の状況が4.0以上の者</p> <p>(3) 音楽教育に深い関心を持ち、将来、小学校教員や中学校・高等学校の音楽の教員を強く志望する者</p>
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 美術・書道教育コース <b>【美術分野】</b>	<p>次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者</p> <p>(1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和7年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和6年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和6年度中に修了又は修了見込みの者</p> <p>(2) 次のA、Bのいずれかに該当する者</p> <p style="padding-left: 40px;">A 美術（デザイン・工芸を含む。）の専門学科に在籍する者で、調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上の者</p> <p style="padding-left: 40px;">B 上記以外の学科に在籍する者で、調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上であり、かつ美術に関する科目の学習成績の状況が4.0以上の者</p> <p>(3) 美術教育への深い関心と実技能力を持ち、将来、小学校教員や中学校・高等学校の美術の教員を強く志望する者</p> <p style="text-align: center;">※書道分野については、学校推薦型選抜の募集は行いません。</p>

大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜

学科・専攻・コース	出願資格及び要件
学校教育教員養成課程 特別支援教育専攻	<p>次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者</p> <p>(1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和7年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和6年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和6年度中に修了又は修了見込みの者</p> <p>(2) 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者</p> <p>(3) 特別支援教育に深い関心を持ち、将来、特別支援学校や小学校において、特別支援教育に携わる教員を強く志望する者</p>
教育協働学科 教育イノベーション 専攻 環境安全科学コース	<p>次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者</p> <p>(1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和7年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和6年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和6年度中に修了又は修了見込みの者</p> <p>(2) 調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の者</p> <p>(3) 身近な暮らしの環境から地球環境に至る幅広い課題の探究に強い関心を持ち、自然科学や生活科学、安全科学など多様な専門的知識・技能を融合して、自然環境、生活環境にかかわる教育課題の解決と豊かで安全な環境づくりに貢献することを望む者</p>
教育協働学科 グローバル教育専攻 日本語教育コース	<p>次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者</p> <p>(1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和7年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和6年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和6年度中に修了又は修了見込みの者</p> <p>(2) 調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の者</p> <p>(3) 日本語・日本文化に深い関心を持ち、将来、国際社会やグローバル化する地域社会、学校などで種々の教育活動に取り組むことを望む者</p>
教育協働学科 グローバル教育専攻 国際協働英語コース	<p>次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者</p> <p>(1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和7年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和6年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和6年度中に修了又は修了見込みの者</p> <p>(2) 調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の者で、英語に関する科目の学習成績の状況が4.2以上の者</p> <p>(3) 多様な文化、考え方を尊重し、高度な英語運用能力をもって積極的に発信、コミュニケーションを行うとともに、国際的な視野から新たな教育のあり方の創造や教育課題の解決に貢献することを望む者</p>

大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜

### 大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜（特別枠）

次のいずれかに該当する者で、令和7年度大学入学共通テストにおいて、本学が各募集区分で指定した教科・科目を受験する者。

**なお、大学入学共通テストの外国語で英語を受験する場合は、必ずリスニングテストを受験すること。**（リスニングテスト免除者は除く。）

	課程・専攻・コース	出願資格及び要件
大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜（特別枠）	学校教育教員養成課程 幼小教育専攻 小学校教育コース	<p>次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者</p> <p>ただし、推薦人数は(4)の①に該当する場合は1校5名以内、②に該当する場合は1校2名以内とし、①②合わせて1校5名以内とする。</p> <p>(1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和7年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和6年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和6年度中に修了又は修了見込みの者</p> <p>(2) 将来にわたり大阪府内の小学校での学校教育に携わることを強く志望する者</p> <p>(3) 将来にわたり大阪府内の小学校教員として活躍を期待できる十分な資質、適性を有すると学校長が判断する者</p> <p>(4) 次のいずれかに該当する者</p> <p>①高等学校在学中に教育に関する科目を4単位以上修得又は修得見込みの者</p> <p>②高等学校在学中に教育委員会や大学が主催する教員養成に関する高校生対象の教育プログラム等（15時間以上のものに限る）に在学校の了解を得て参加し、修了又は修了見込みの者</p> <p>※本学開講の教育プログラム以外については、出願資格に該当するかどうかを、事前に入試課までご確認ください。</p>